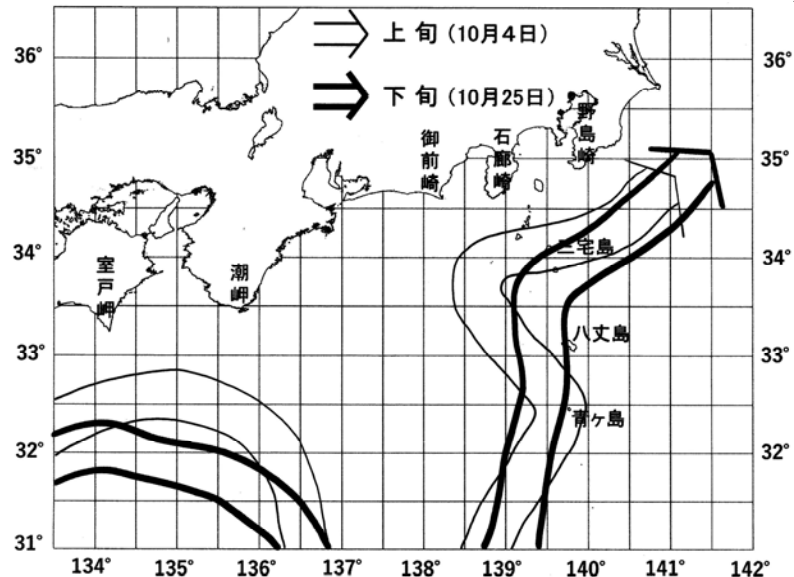


漁海況月報

令和元年 10月 1日

No. 10 ~10月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

10月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	24.4	24.7	24.0	25.9	25.4	25.6
	2.2	1.7	1.0	2.3	2.4	3.1
中旬	22.6	23.9	22.5	24.3	23.8	22.2
	1.1	1.5	0.3	1.4	1.3	0.5
下旬	21.6	22.9	21.8	23.0	22.8	21.8
	0.9	1.2	0.5	1.0	1.4	1.0
月	22.8	23.8	22.8	24.4	23.9	23.4
	1.4	1.5	0.7	1.6	1.7	1.8

【黒潮流路】

*地頭方の水温観測は終了しました。

10月を通じてA型で、上旬は潮岬沖32.5°Nから南南東に進み、30.5°N、137.5°E付近まで南下した後に、138-140°Eの間をS字状に北上し、三宅島付近から北東に流去した。中旬は潮岬沖31.5°Nから南東に進み、30.5°N、138°E付近まで南下した後に、139-140°Eの間を北上し、三宅島付近から北東に流去した。下旬は潮岬沖31.5°Nから南東に進み、30.5°N、138°E付近まで南下した後に、139-140°Eの間を北上し、三宅島の南33.5°N付近から北東に流去した。

上旬に三宅島西の黒潮屈曲部から西に向けて暖水が波及し、駿河湾沖～遠州灘には中旬まで25以上の暖水が分布した。

【県下沿岸域】

10月上旬は、下田「やや高め」、伊東、稲取、雲見、沼津「高め」、焼津「かなり高め」であった。中旬は、下田「平年並」、伊東、雲見、沼津、焼津「やや高め」、稲取「高め」であった。下旬は、伊東、稲取、下田、雲見、沼津、焼津ともに「やや高め」であった。

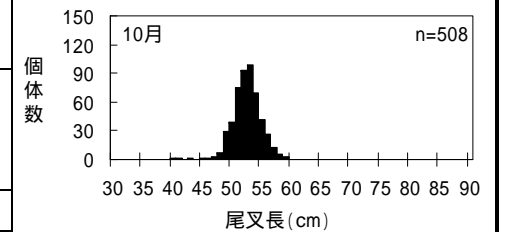
【竿釣りカツオ】

10月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は31トンで前年同月(58トン)の54%であった。魚価は534円/kgで前年同月(348円/kg)を上回った。

御前崎港で調査した魚体サイズは、中(尾叉長53cmモード)を主体に、小(尾叉長49cmモード)、大(尾叉長58cmモード)などであった。また、同調査にて聞き取りした漁場位置は34.0-34.5°N、138.5-139.0°Eの駿河湾沖などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
R元年10月上旬	15	9	1.7	554
中旬	2	4	0.6	812
下旬	14	12	1.2	464
R元年10月計	31	25	1.3	534
H30年10月計	58	29	2.0	348
H29年10月計	24	14	1.7	528



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の漁獲量は324トンで前年の同漁場の漁獲量(265トン)の1.2倍であった。また、1か統あたりの漁獲量は、46.3トンで前年(37.8トン)の1.2倍、平年(昭和57年～平成30年の平均46.0トン)の1.0倍であった。漁獲量の多い漁場は、伊豆山漁場(124トン、さば類、ヤマトカマス、マイワシ)、次いで古網漁場(82.2トン、マイワシ、ブリ、マルソウダ)であった。なお、川奈漁場は台風15号による網破損のため休業中であった。

多獲された魚種の漁獲量は次頁(表)の通りで、さば類は64.3トンで前年比92%、平年比79%であった。さば類のうち、マサバは2.1トンで前年比51%、平年比91%、ゴマサバは62.3トンで前年比95%、平年比79%で、ゴマサバ主体であった。マイワシは58.8トンで、前年比72%、平年比4.5倍であった。ヤマトカマスは42.4トンで前年比2.3倍、平年比1.8倍であった。マルソウダは34.0トンで前年比3.5倍、平年比90%であった。イサキは24.5トンで前年比2.9倍、平年比1.3倍であった。その他の魚種については、ブリ(わかし銘柄)が19.9トンで前年比4.3倍、平年比5.7倍、カンパチが12.9トンで前年比9.4倍、平年比4.8倍、クサヤモロが16.1トンで平年比6.0倍(前年は漁獲無し)と前年、平年を上回った。また、マアジ(じんだ銘柄)が0.6トン、前年比316.5倍、平年比2.4倍と前年を大きく上回った。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の漁獲量の割合は、さば類では伊豆山漁場が75%(48.5トン)、古網漁場が11%(6.8トン)、マイワシでは古網漁場が78%(46.0トン)、伊豆山漁場が22%(12.8トン)、ヤマトカマスでは北川漁場が42%(17.6トン)、伊豆山漁場が34%

(14.4トン) マルソウダでは伊豆山漁場が34%(11.7トン)、富戸漁場が22%(7.6トン)、古網漁場が20%(6.8トン)、北川漁場が15%(5.1トン)、イサキでは富戸漁場が49%(12.0トン)、谷津漁場が19%(4.6トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	64.3	0.92	0.79	伊豆山、古網
マイワシ	58.8	0.72	4.48	古網、伊豆山
ヤマトカマス	42.4	2.25	1.80	北川、伊豆山
マルソウダ	34.0	3.53	0.90	伊豆山、富戸、古網、北川
イサキ	24.5	2.87	1.33	富戸、谷津

[サバ 棒 受 網]

小川港所属の棒受網船は棒受網で操業し、漁場は利島、三本に形成されたが、漁況は極めて低調であった。水揚量はゴマサバ12トン(前年同月267トン)であり、1隻あたり水揚量はゴマサバ1.0トン(前年同月17.8トン)であった。1kgあたり平均単価は128円で前年同月(121円)を上回り、前月(540円)を下回った。マサバの水揚げはなかった。

漁獲されたゴマサバの体長組成は尾叉長31cmにモードを持つ単峰型であった。

小川港 さば類(棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R元年10月上旬		5	2	4		1.2		130	利島
中旬			2	4					
下旬		8	1	4		1.9		126	三本
R元年10月計		12	5	12		1.0		128	利島 三本
H30年10月計		267	7	15		17.8		121	三宅 三本
H29年10月計		185	6	12		15.4		85	銭洲 三本 三宅

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

[サクラエビ 船 曳 網]

令和元年度秋漁は、10月23日晩が初漁日であった。10月の出漁日数は3日(前年10月は出漁なし)、水揚量は5.8トンで1日1か統あたりの平均漁獲量は32.4kgであった。

主な漁場は小川沖から相良沖に形成された。水揚げされたサクラエビの体長組成は、体長30mmにモードをもつ当歳エビと、38mmにモードを持つ1歳エビであった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	1日1か統あたり平均漁獲量(kg)	漁場
R元年10月	5.8	3	32.4	小川沖~相良沖

[シラス 船 曳 網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が87kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が195kgであった。平均水揚量は163kgと前年同期(244kg)の66.8%、平年同期(過去5か年平均:406kg)の40.1%であった。また、総水揚量は160.1トンで前年同期(324.0トン)の49.4%、平年同期(745.9トン)の21.5%と、前年、平年同期を下回った。平均単価は846円/kgと、前年同期(1,011円/kg)の83.7%、平年同期(793円/kg)の1.1倍と、前年同期を下回り、平年同期を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	13.8	8	82	168	644
舞 阪	47.6	8	279	171	818
福 田	45.5	9	219	208	790
御前崎	27.4	10	108	253	957
吉 田	15.3	9	171	90	933
静 岡	10.5	12	125	84	1,063
R元年10月計	160.1	56	984	163	846
H30年10月計	324.0	63	1,330	244	1,011
H29年10月計	153.4	60	1,150	133	1,399

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期:過去5か年(平成26~平成30年)平均値

[まき 網 (い わ し 類)]

マイワシの水揚量は、伊東港では86.1トン(前年同月比53.0%、平年同月比86.9%)、静浦港では0.06トン(前年同月比30.8%、平年同月比35.7%)、沼津港、小川港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港において水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは58.8トン、カタクチイワシは0.01トンであった。

*平年:過去5か年(平成26~平成30年)平均値

[調 査 船 駿 河 丸 の 動 向]

10月 1日	公共用水域水質測定調査	(1日間)
10月 7日 ~ 10月 8日	地先定線観測調査	(2日間)
10月 8日 ~ 10月 9日	サクラエビ調査(ボンゴネット)	(2日間)
10月 28日 ~ 10月 29日	キンメダイ食害調査(伊豆分場)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

3月からホームページのアドレスが変わりました。

httpと://fish-expの間にsが追加され、https://fish-expになります。

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

